令和8年度

主催　地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

品質管理講習会のスポット講座

長年にわたりみなさまから信頼されてきた品質管理講習会(基礎・技術課程)は、これまで15日間のコースとして開催してきました。その中から、実務に直結する講義を選んで受講出来るのが「スポット講座」です。1日ないしは2日間分の講座を選んで、ご受講いただけます。

＜こんな方に＞・必要なテーマだけ、短期間で学びたい方　・品質管理を実務目線で学び直したい方

■講座構成

品質管理講習会(基礎課程)より、独立性の高い講座をピックアップしました。また、品質管理講習会(技術課程)のほとんどの講座をご受講いただけます。

QCマインド　経営トップ、リーダー、これから品質管理を学びたい方に

- M1　品質管理概論
- M2　未然防止
- M3　日常管理と方針管理

新製品開発　顧客価値創造に向けた新製品開発を学びたい方に

- N1　顧客価値を実現するための新商品開発と科学的問題解決入門
- N2　お客様の価値創造に貢献し、ブルーオーシャン戦略を実現する新商品開発と品質保証の基本
- N3　品質機能展開 ― 顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール①、②
- N4　信頼性入門とFMEA/FTA ― 品質保証・未然防止・安全・安心への基礎 ―

事実に基づく管理　統計的知識に基づく科学的な問題解決の知識を深めたい方に

- F1　QC七つ道具①、②
- F2　はじめてでもよくわかる検定・推定 ― 問題解決に活かす統計的手法の考え方 ―
- F4　かしこい実験のために ― 分散分析を使って、うまくいく方法を見つける ―
- F5　実験回数を減らして、答えは増やす ― 2水準直交配列表実験入門 ―
- F6　ゲームで学ぶ実験計画法（導入編)、(応用編)
- F3　データに潜む「関係性」を解き明かし、改善の根拠を作る ― 相関・回帰分析による要因解析と予測の実践 ―

F3～F6は受講にあたりお願いがございます。詳しくはHPをご覧ください。

生成AIの活用　生成AIを活用したこれからの品質管理を学びたい方に

- G1　生成AIと新QC七つ道具
- G2　生成AIで加速するQC活動
- G3　生成AIがデータサイエンティストになる

■　受講料

※受講可能な講座などは、今後変更となる場合があります。ご了承ください。

選択種類	受講料	備考
スポット講座(1日)	11,000円	N3、F1、F6以外の講座を1日受講していただけます。
スポット講座(2日間)	20,000円	2日間講座(N3、F1、F6)を2日間受講していただけます。

■　最新情報・詳細・申込はHPをご覧ください。

https://www.kistec.jp/learn/qcspot

■開催方法　オンライン（Zoom）（講座修了後、14日間のオンデマンド配信あり）
■開講時間　10:00～16:00（昼休み　12:00～13:00）
※一部講座は昼休み時間が異なる場合があります。

■カリキュラム日程表

講座番号	日程	科　目	講師
M1	6/11(木)	品質管理概論	電気通信大学　名誉教授 鈴木 和幸
F1	6/15(月)	QC七つ道具①	東海大学　教授 金子 雅明
	6/19(金)	QC七つ道具②	電気通信大学　教授 横川 慎二
M2	7/2(木)	未然防止	電気通信大学　名誉教授 鈴木 和幸
M3	8/20(木)	日常管理と 方針管理	元文化学園大学　特任教授 Quality Investigator 光藤 義郎
G1	8/27(木)	生成AIと新QC七つ道具	関西大学　名誉教授 荒木 孝治
N1	11/5(木)	顧客価値を実現するための新商品開発と科学的問題解決入門	青山学院大学　名誉教授 石津 昌平
N2	11/12(木)	お客様の価値創造に貢献し、 ブルーオーシャン戦略を実現する新商品開発と品質保証の基本	元文化学園大学　特任教授 Quality Investigator 光藤 義郎
F2	11/19(木)	はじめてでもよくわかる検定・推定 ― 問題解決に活かす統計的手法の考え方 ―	電気通信大学　名誉教授 鈴木 和幸
F3	11/24(火)	データに潜む「関係性」を解き明かし、改善の根拠を作る ― 相関・回帰分析による要因解析と予測の実践 ―	慶應義塾大学　教授 鈴木 秀男
F4	12/2(水)	かしこい実験のために ― 分散分析を使って、うまくいく方法を見つける ―	拓殖大学　教授 佐野 雅隆
F5	12/8(火)	実験回数を減らして、答えは増やす ― 2水準直交配列表実験入門 ―	東海大学　教授 金子 雅明
F6	12/17(木)	ゲームで学ぶ実験計画法（導入編）	株式会社日本科学技術研修所 犬伏 秀生
	12/24(木)	ゲームで学ぶ実験計画法（応用編）	株式会社日本科学技術研修所 犬伏 秀生
G2	1/21(木)	生成AIで加速するQC活動	関西大学　名誉教授 荒木 孝治
G3	1/28(木)	生成AIがデータサイエンティストになる	関西大学　名誉教授 荒木 孝治
N3	2/4(木)	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール　① ― 品質機能展開 ―	玉川大学　教授 永井 一志
	2/10(水)	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール　② ― 品質機能展開 ―	玉川大学　教授 木内 正光
N4	2/18(木)	信頼性入門とFMEA/FTA ― 品質保証・未然防止・安全・安心への基礎 ―	電気通信大学　名誉教授 鈴木 和幸

※受講可能な講座などは、今後変更となる場合があります。ご了承ください。

最新情報・詳細・申込はHPをご覧ください。
https://www.kistec.jp/learn/qcspot/

お問い合わせ
地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 人材育成部
教育研修課　産業人材研修グループ
TEL:046-236-1500　E-mail:sm-hinkan@kistec.jp

令和8年度　品質管理講習会(スポット講座)　講義内容

講座番号	日程	科目	内容	講師
M1	6/11(木)	品質管理概論	日本的品質管理/基礎課程のコースガイド 日本的品質管理　QC七つ道具と科学的問題解決法	電気通信大学 名誉教授 鈴木 和幸
F1	6/15(月)	QC七つ道具①	科学的問題解決法 QC七つ道具（チェックシート、グラフ、パレート図、特性要因図）	東海大学 教授 金子 雅明
	6/19(金)	QC七つ道具②	ヒストグラム(正規分布)、層別、散布図・相関	電気通信大学 教授 横川 慎二
M2	7/2(木)	未然防止	予測に基づく未然防止／FMEA・FTA・ETA	電気通信大学 名誉教授 鈴木 和幸
M3	8/20(木)	日常管理と 方針管理	日常管理と標準化(組織目的達成のための組織管理のしくみ) 方針管理（変化に適応し変化を生み出すための組織管理のしくみ）	元文化学園大学 特任教授 Quality Investigator 光藤 義郎
G1	8/27(木)	生成AIと 新QC七つ道具	生成AIの概要・QC活動への活用と留意点 新QC七つ道具と生成AIの活用	関西大学 名誉教授 荒木 孝治
N1	11/5(木)	顧客価値を実現するための 新商品開発と 科学的問題解決入門	顧客価値を生み出す新商品開発のプロセスを体系的に学びます。品質情報を活用して新製品開発を進める仕組みを理解し、技術的課題に対して仮説を立てて検証を進めるための科学的な問題解決手法を身につけることができます。	青山学院大学 名誉教授 石津 昌平
N2	11/12(木)	お客様の価値創造に貢献し、 ブルーオーシャン戦略を実現する 新商品開発と 品質保証の基本	モノづくりの原点である品質保証と、それを実現する有力手段としての新商品開発の基本について講義します。VUCAと言われる混迷の時代、日本の産業がどう立ち向かっていくべきか、その進むべき方向性が見えてきます。	元文化学園大学 特任教授 Quality Investigator 光藤 義郎
F2	11/19(木)	はじめてでも よくわかる 検定・推定 ― 問題解決に活かす統計的手法の考え方 ―	問題解決プロセスの要点と検定・推定の考え方と基礎が修得でき、AIや統計ソフトの出力の正しさを自信をもって評価出来るようになります。 QC検定2級取得に必須の学習項目です。	電気通信大学 名誉教授 鈴木 和幸
F3	11/24(火)	データに潜む 「関係性」を 解き明かし、 改善の根拠を 作る ― 相関・ 回帰分析による 要因解析と 予測の実践 ―	現場のデータから、どの要因が品質や成果に影響を与えているか、その「関係の強さ」を客観的に評価する手法を学びます。散布図による視覚的な把握から、Excelを用いた重回帰分析までを体系的に習得します。「見かけ上の相関」に惑わされない解釈のポイントや、分析結果を次のアクションへ繋げるプロセスを重視。経験や勘を統計的な裏付けへと昇華させ、周囲を納得させる改善ストーリーを描く力を養います。	慶應義塾大学 教授 鈴木 秀男

令和8年度 品質管理講習会(スポット講座) 講義内容

講座番号	日程	科目	内容	講師
F4	12/2(水)	かしこい実験のために ― 分散分析を使って、うまくいく方法を見つける ―	よい結果に得るためにどうすればよいかを統計的に探る分散分析を扱います。「2水準直交配列表による実験」を理解するための土台をつくります。	拓殖大学 教授 佐野 雅隆
F5	12/8(火)	実験回数を減らして、答えは増やす ― 2水準直交配列表実験入門 ―	本講義では、2水準直交配列表を用いて、少ない試験回数で要因の影響を見極める実験の組み立て方を扱います。受講後には、品質・工程・配合条件などの改善テーマに対し、総当たりを避けて検証計画を自分で設計し、結果から効く要因を素早く特定できるようになります。 現場の制約(コスト・納期・設備)を踏まえた、再現性の高い改善提案につなげられる力を養います。	東海大学 教授 金子 雅明
F6	12/17(木)	ゲームで学ぶ実験計画法(導入編)	本科目では、シミュレーションゲームを通じて、実務での実験計画法の活用を体験できます。導入編では、まず簡単な課題に取り組んでいただき、実験を行う水準の設定や最適な条件の探索方法など、実験計画法活用の基本的な考え方の体験・習得をしていただきます。	(株)日本科学技術研修所 犬伏 秀生
	12/24(木)	ゲームで学ぶ実験計画法(応用編)	応用編では、因子数が多い、より難易度が高い課題に取り組んでいただき、効率的な要因の絞り込み方や実験の進め方など、実験計画法をより有効に活用するために必要な考え方の体験・習得をしていただきます。	(株)日本科学技術研修所 犬伏 秀生
G2	1/21(木)	生成AIで加速するQC活動	生成AIの基本を理解した後、戦略立案からマーケティング、品質管理まで横断的にフレームワークを活用します。QCストーリーや七つ道具を実際にAIと対話しながら学び、明日から使える問題解決スキルを体得できる実践型セミナーです。	関西大学 名誉教授 荒木 孝治
G3	1/28(木)	生成AIがデータサイエンティストになる	生成AIと対話しながら実験計画法、分散分析、回帰分析、クラスタリングをデータで体験し、分析結果を説得力あるレポートに仕上げるまでを習得。AIがあなた専属のデータサイエンティストとして改善活動を支援します。	関西大学 名誉教授 荒木 孝治
N3	2/4(木)	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール ① ― 品質機能展開 ―	顧客の要求を分析し、これを製品として具現化することは開発において非常に重要です。本講義では品質機能展開における基礎知識を習得すると共に、品質表の作成方法を学びます。	玉川大学 教授 永井 一志
	2/10(水)	顧客要求に合致する製品開発を実現するサポートツール ② ― 品質機能展開 ―	2/4(木)に行った講義の振り返りと演習の続きを行います。演習終了後は、品質機能展開構想図の作成を学び、一人ひとりの課題に合った活用の仕方を修得します。	玉川大学 教授 木内 正光
N4	2/18(木)	信頼性入門とFMEA/FTA ― 品質保証・未然防止・安全・安心への基礎 ―	信頼性の考え方、特に故障とエラーのメカニズム、FMEA/FTA、エラープルーフ/フェイルセーフ、寿命データの解析を修得し、品質保証・安全確保への基礎を修得出来ます	電気通信大学 名誉教授 鈴木 和幸